

このまちの STORY

行田編

3-5
プレイ人数

20-30 min.
プレイ時間

8+
対象年齢

このまちの STORY 行田編は、ことばカードを組み合わせて、行田市のおもしろストーリーを作るパーティーゲームです。

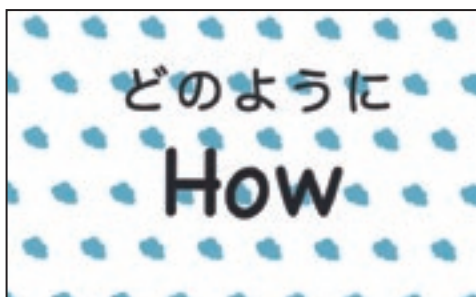
◎入っているもの・・・



場所カード 20 枚



こはぜ 2 個
(1 個は予備)



Who、What、How、Do
ことばカード各 20 枚

◎ 勝利条件

場所カードの場所で、いちばん起こりそうなストーリーを作った人がその時の場所カードを獲得します。ゲーム終了時に、もっとも多くの場所カードを持っている人が勝ちとなります。

◎ ゲームの準備

カードを種類ごとに山札にして、全員の手が届く位置に、下の写真のように配置します。



←場所カード

←ことばカード

左から、Who、What、How、Do

◎ ゲームの進行

- ① 全員がことばカードの各山札から1枚ずつカードを引きます。
- ② もっとも多く場所カードを持っている人（最初は、もっとも長く行田に住んでいるっぽい人）が、**Do**を除くことばカードのいずれかの山札の上に、こはぜを置きます。
- ③ 場所カードの山札を1枚めくりします。

- ④ こはぜが置かれた山札と同じ種類のカードを、手札からそれぞれ右隣の人の前に置きます。この時、使ってほしい言葉を相手に向けて置きます。
- ⑤ カードを渡し終わったら、自分が引いたカードと渡されたカードの言葉を使って、ストーリーを作ります。この時、自分が使うことばカードは、自分が見やすい向きで置いてください。渡されたカードの言葉は必ず使わなくてははいけません。
- ⑥ 全員がストーリーを作り終えたら、こはぜを置いた人から時計回りに発表します。
- ⑦ 全員の発表が終わったら、自分以外で、場所カードの場所でいちばん起こりそうなストーリーを作ったと思う人を「せーのっ！」で一斉に指をさします。もっとも多く指をさされた人が、その時の場所カードを獲得します。

同数の場合は、山札の一番上からも引いて、該当者全員が場所カードを獲得します。
- ⑧ ③～⑦をもう1度繰り返します。ただし、誰かが使った単語はもう使うことはできません。
- ⑨ ストーリーに使った全てのカードを捨て札とします。

以上の①～⑨を3回行って、ゲーム終了になります。
もっとも多くの場所カードを持っている人が優勝です。

◎ ゲームの補足 ・ ・ ・ ・ ・

ストーリーを作る時は、場所カードも含めて、うまくつながるように少し言葉を足したり、順番を変えたりしても大丈夫です。

(例) 「校長先生」が「山盛りのホイップ」を見て「よだれを垂らしながら」、「埼玉古墳群」に「うめた」

他の人が作ったストーリーは、見ないで発表を聞いたほうが楽しめます♪